

迎春

早寝早起き朝ごはん 健康長寿のまちづくり

謹

んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

町政を担当して以来、皆さまの温かいご支援を得ながら「潤いと安らぎのあるまち」を目標に鋭意努力を続けてまいりました。皆さまのお力添えに心から感謝申し上げます。

昨年は、リーマン・ショックにより株価が暴落し、世界的な経済恐慌に陥りました。国内におきましても、企業の生産調整により雇用環境が著しく悪化するなど、暗いニュースの多い一年でありました。そのような中で、日本漢字能力検定協会が発表した昨年の世相を表す漢字には、「変」という一文字が選ばれましたが、新しい年は大きくよりよい方向に「変」わることを期待しております。

また、日本各地で自然災害が多発し、農作物等に甚大な被害を与えました。当町におきましても、春先の霜とひょう、さらには秋のひょうにより、かつてないほどの農作物被害を受けました。被害額は

リンゴ、ブドウ、コメをあわせておよそ十四億円と、莫大な被害でありました。昨年四月に開設した農業支援センターを中心に生産指導を行ってまいりましたが、農家は疲弊し、町全体に経済の閉塞感が漂っております。当町は農業を基盤とした町であることから、本年は農業者に活力を与えられるよう諸施策を着実に実施してまいります。

このような中にあっても、昨年は青森県民体育大会において、二位以下に大差をつけて三年連続十四回目の総合優勝を成し遂げることができました。この快挙は、選手及び関係者の皆さんが町の名譽をかけて一致団結し成し得たものであり、選手、体育協会並びに関係各位に對しまして心より敬意を表する次第であります。

町民の皆さまのご協力を得て、平成十五年から三か年にわたり津軽富士見湖周辺に千六百本の桜を植樹したことや平成十八年度から「津軽富士見湖桜まつり」を開催するなど、町民相互のふれあいの場づくりや桜による景観づくり

の取り組みが認められ、昨年、財団法人日本さくらの会から「さくら功労者」の表彰を受けることができました。これもひとえに町民の皆さま方のご協力があったことと、深く感謝申し上げます。晴天に恵まれた昨年の桜まつりは、桜の早咲きで葉桜でのオーブニングとなりましたが、鶴の舞橋カラオケ大会や富士見湖一周マラソン大会など、一万九千人のお客様がおいでになり、にぎやかに開催することができました。本年も日本さくらの会から苗木を譲り受け、町民の皆さまとともに植樹し、桜の名所づくりに努めてまいります。

昨年は、食品の偽装表示が社会問題となりましたが、当町では朝ごはん条例で掲げております「安全安心な農産物の供給」、「地産地消の推進」の基本方針に基づき、学校給食応援隊のみなさんによる食材の提供や「リンゴ二籠運動」による学校給食でのリンゴの提供など、地産地消に努めるとともに、子供たちや消費者の皆さんには安心して食べられる安全な農産物を供給して

いくような生産者を支援してまいります。

当町から情報発信した早寝早起き朝ごはん運動が、目標とした全国運動にその輪が広がってまいりました。昨年八月には、確かな学力の育成と基礎学力の定着を図るため、学力向上推進大会を開催いたしました。立命館大学の陰山英男教授を講師にお招きし、学力向上のための取り組み方法を学び、早寝早起き朝ごはんを基本とした規則正しい生活リズムの確立や読書に励むことなどで学力水準の高い町を目指した「鶴田町学力向上推進宣言」をし、学校と家庭が連携して将来を担う人材を育成するための対策を積極的に推進してまいります。また、早期発見・早期治療が健康を保つためには欠かせないことから、町民の健康寿命アップと健康づくりへの関心を高めるため、健診率青森県ナンバーワンを目指し、地域全体で病気の予防対策を進めることで、健康長寿のまちづくりを進めてまいります。

一方、行財政運営におきましては、景気後退による町税





や地方交付税の減少により、我が町の財政は極めて深刻な状況にあります。そのため、行政のスリム化を図るべく、十四課を七課に統合して事務の範囲を大きくした班編成としたことにより、職員の流動性を発揮させ、より効率的な事務の遂行が可能な組織体制としております。

明

けましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成二十一年の年頭に当たり町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、当町のリンゴ、ブドウ農家の皆さんにとって大変厳しい一年でございました。心からお見舞い申し上げます。

特にリンゴ農家の皆さんは五月の降霜、降ひょうで大きな被害を受け、更には収穫目前の九月に二度目の降ひょうにより大きな被害を受けたことは、極めて残念であり一日も早い回復をお祈りいたしております。議会としても、町と一体となり、国、県に陳情をしつつ、その被害の救済に

西北五地域保健医療圏自治体病院機能再編成計画で進めております中核病院の建設につきましましては、五所川原市役所隣の旧市民会館跡地に中核病院を建設し、町立中央病院につきましましては、無床の診療所とすることで計画が進んでおります。全国的な医師不足に対応するためには、西北五

全力を挙げて取り組んだところでございます。厳しい財政状況の中、精一杯の施策を展開させていただいたものと思っております。

さて昨年の前半は、一月に中国製餃子事件、五月に中国四川での大地震、八月北京五輪とまさに中国が世界の耳目を集め、後半はアメリカに端を発した金融危機が、全世界に広がり、そのあおりを受けて日本でも内定取り消しなどの雇用不安、景気低迷など経済危機に立たされております。そのため、国の税収が多く望めないため、地方交付税も伸びが期待できないものと推察されます。地方交付税の伸びが期待できなければ、税源の乏しい当町財政もまた、危機的状況に直面しているものと憂慮せざるを得ません。町は、昨年十六人の退職者

圏域の医療の再編は避けられないものと考えておりますので、皆さまのご理解をお願い申し上げます。今後とも、町民の皆さまとともに知恵を出し合い、安心して暮らすことができる、安全に過ごすことができるまちづくりに向けて、誠心誠意努力してまいりますので、なお

がいても補充することなく、大課制に移行し、人件費の抑制に取り組んできました。議会も、十六人の議員定数を十二人に削減し、経費削減に取り組んできたところであります。少数精鋭主義という建前の中にあって、町民の負託に応えるため、努力して行きたいと思っております。

議会では、平成十六年に板柳町と合併を模索しつつ、今一步のところまで白紙になったわけですが、厳しい財政状況のため、合併は避けて通れないものと考え、昨年九月議会において、議員全員による合併促進特別委員会を設置し、合併の実現に向けて現在積極的に取り組んでいる最中であります。厳しい財政状況にあっても、町の基幹産業の農業振興をはじめ商工業の活性化、学

一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、本年も町民の皆さまにとりまして、幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

二〇〇九年 元旦

鶴田町長 中野撃司

力向上のための教育環境の整備、少子高齢化対策など山積しているあまたの課題を行政と議会が、協働して解決していかねばなりません。地方分権が進む中、今まで経験したことのない大きな改革の時期に遭遇しております。市町村の真価が問われる時代になり、私たち議員も何が必要か、的確に判断し、町との十分な意思疎通を図りながら、その責務を果たし、住みよいまちづくりのため努力して参るつもりです。

終わりに、本年も町民の皆様が健やかで幸多い年でありますようお祈り申し上げます、議会を代表して、新年のあいさつといたします。

二〇〇九年 元旦

鶴田町議会議長 出町 豊